

## 20230907更新

区分	資源の種類:マウス、細胞(ヒト、マウス、ラット)、発現ベクター(cDNA, shRNA/siRNAなど)、cDNAライブラリーなど	資材名、系統名(背景系統)	特徴、内容および特記事項など(改変遺伝子名・改変の概要)	担当者あるいは管理者
遺伝子改変マウス(凍結胚あるいは生体)	マウス	JMJD5-CKO(B6)	JMJD5・JMJD5遺伝子のエクソン4を loxP部位ではさんだ構造	機能ゲノミクス(鈴木先生)
マウス発がんモデル	マウス発がんモデル	K19-Wnt1/K19-Ptgs2/K19-Ptges(B6-Ganマウス)(B6)	Wnt1, Ptgs2, Ptges(Wnt1, COX-2, mPGES-1)・K19遺伝子プロモーター制御下にWnt1、Ptgs2(COX-2)、Ptges(mPGES-1)遺伝子を発現し、胃粘膜に腫瘍を自然発生する。	腫瘍遺伝学(大島先生)
マウス発がんモデル	凍結組織(マウス発がんモデル)	Ganマウス胃がん組織	Wnt1、COX-2、mPGES-1発現によるマウス胃がん組織	腫瘍遺伝学(大島先生)
マウス発がんモデル	凍結組織(マウス発がんモデル)	マウス胃炎組織	COX-2、mPGES-1発現によるマウス胃炎組織	腫瘍遺伝学(大島先生)
マウス発がんモデル	未染色パラフィン切片(マウス発がんモデル)	マウス胃炎組織	COX-2、mPGES-1発現によるマウス胃炎組織の未染色切片	腫瘍遺伝学(大島先生)
マウス発がんモデル	細胞(マウス発がんモデル)	マウス大腸がんオルガノイド	APC(A)、KRAS(K)、TGFB2(T)、p53(P)の遺伝子変異を組み合わせて導入した腸管腫瘍オルガノイド。AKT、AKP、AKTPなど	腫瘍遺伝学(大島先生)
遺伝子改変マウス(凍結胚あるいは生体)	マウス	RECK KO(129,B6)	RECK・RECK遺伝子のエクソン1内にネオマイシン耐性遺伝子(neo)を挿入 マイシン耐性遺伝子(neo)を挿入	腫瘍分子生物学(高橋先生)
遺伝子改変マウス(凍結胚あるいは生体)	マウス	Mm-FVB-TgH(FRS2 $\alpha$ flox)(FVB/N)	FRS2 $\alpha$ ・FRS2 $\alpha$ 遺伝子のエクソン5の周囲にloxカセットを入れた	分子病態(後藤先生)
遺伝子改変マウス(凍結胚あるいは生体)	マウス(凍結精子で提供)	MMTV-neu(FVB)	MMTVプロモーター下流にneuが挿入	分子病態(後藤先生)
遺伝子改変マウス(凍結胚あるいは生体)	マウス(凍結精子で提供)	MMTV-Cre(FVB)	MMTVプロモーター下流にCreが挿入	分子病態(後藤先生)
遺伝子改変マウス(凍結胚あるいは生体)	マウス	PYNODノックアウトマウス	PYNODの遺伝子( <i>Nlrp10</i> )の第2エクソンを欠失するマウス	免疫炎症制御(須田先生)
遺伝子改変マウス(凍結胚あるいは生体)	マウス	PYNOD-floxマウス	PYNODの遺伝子( <i>Nlrp10</i> )欠損マウスの第2エクソンの両側にlox配列を持つマウス	免疫炎症制御(須田先生)
遺伝子改変マウス(凍結胚あるいは生体)	マウス	PYNODトランスジェニックマウス	CAGプロモーター制御下にPYNODを発現するトランスジェニックマウス	免疫炎症制御(須田先生)